



第 66 回 定時株主総会

事業報告

連結損益計算書

売上収益
88億2百万円

(百万円)

12,000

-8.0%

9,000

6,000

3,000

0

前期

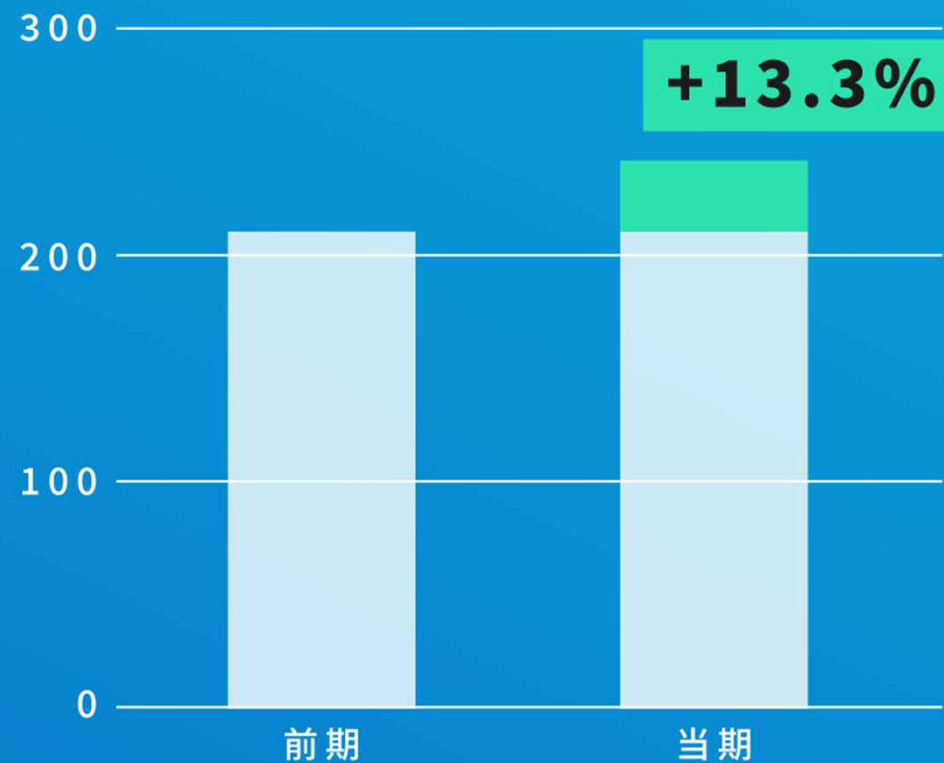
当期

連結損益計算書

営業利益

2億32百万円

(百万円)



連結損益計算書

営業利益率
2.6%

(%)

+0.4pt

3.0

2.0

1.0

0.0

前期

当期

連結損益計算書

当期純利益
3億12百万円

(百万円)

400

+103.0%

300

200

100

0.0

前期

当期

1株当たりの当期利益

68円41銭

連結財政状態計算書

資産合計

120億54百万円

(百万円)

15,000

+4億46百万円

10,000

5,000

0

前期

当期

連結財政状態計算書

負債
56億34百万円

(百万円)



連結財政状態計算書

純資産

64億19百万円

(百万円)

8,000

+4億72百万円

6,000

4,000

2,000

0

前期

当期

自己資本比率

53.3%

1株当たり純資産

1,437円50銭



第67期(25年7月期)見通し

第67期見通し

受注拡大

収益改善

カーボンニュートラル
に向けた取り組み

工場増強
働く環境整備

人事
教育強化

第67期見通し



総連結売上高 (億円/年)

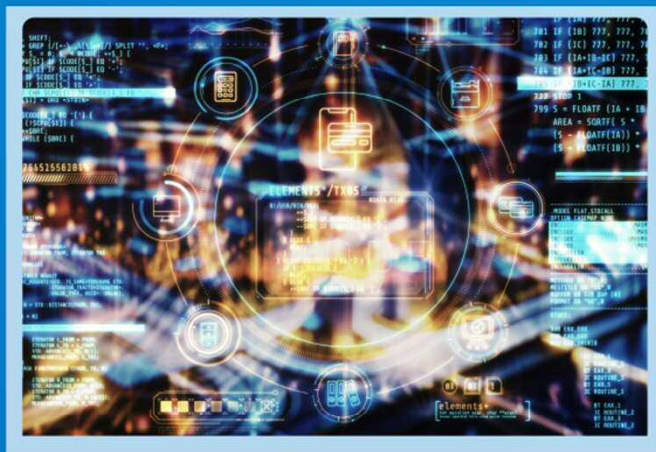


$$\text{DOE（株主資本配当率）} = \frac{\text{年間配当総額}}{\text{株主資本}}$$

成長戦略とサステナビリティ経営

利益成長を推し進めるとともに
グローバル社会における様々な課題解決へ貢献

ものづくり力強化



カーボンニュートラル



健康経営と働く環境の改善



成長戦略とサステナビリティ経営

ものづくり力強化① めっきラインの拡充



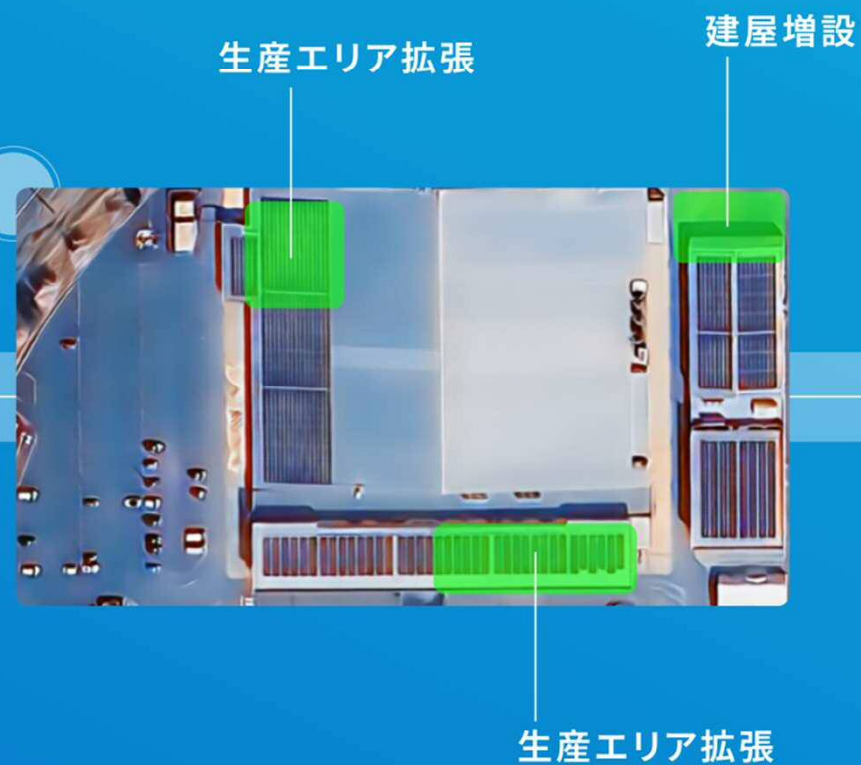
成長戦略とサステナビリティ経営

ものづくり力強化② プレス設備の拡充



成長戦略とサステナビリティ経営

ものづくり力強化③ 東北事業部の拡張



成長戦略とサステナビリティ経営

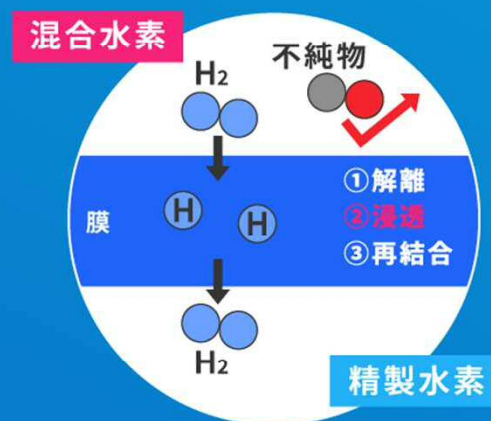
ものづくり力強化④ 新規事業01

めっき水素透過膜開発の概要

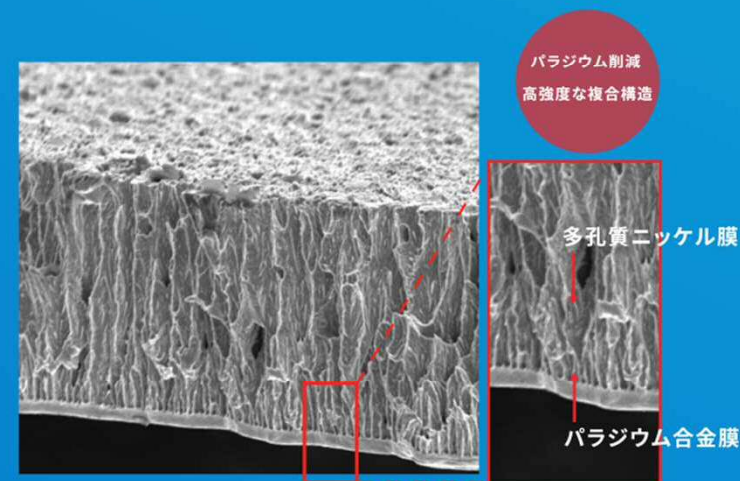
- ▶ 水素精製に利用可能な水素透過膜を開発中
- ▶ 山王独自の複合めっき水素透過膜は低コスト、高性能
- ▶ 産業技術総合研究所、東京科学大学との共同開発により更なる高性能化、実用化を推進中



めっき水素透過膜



水素精製の模式図



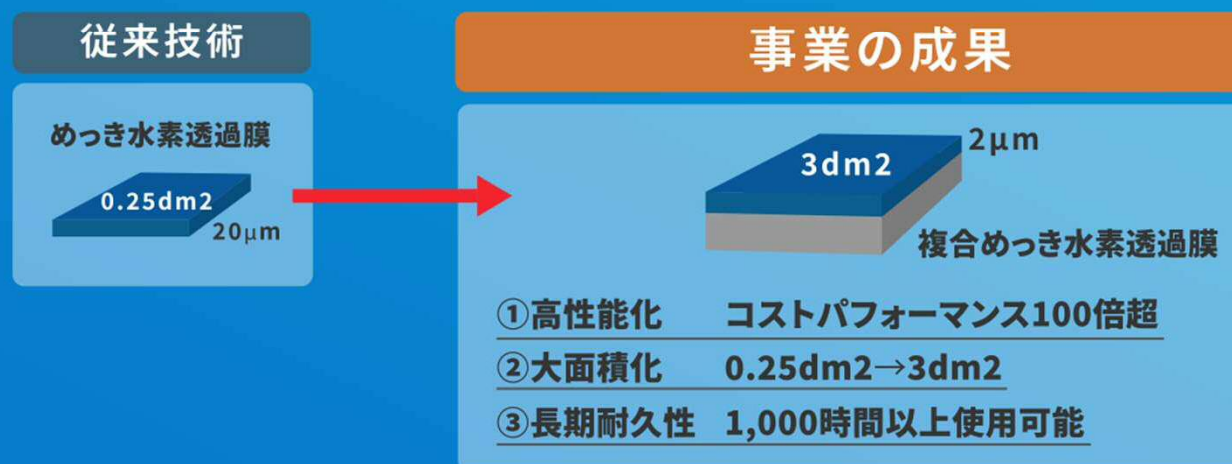
複合めっき水素透過膜の構造

成長戦略とサステナビリティ経営

ものづくり力強化⑤ 新規事業02

福島県再生可能エネルギー事業化実証研究支援事業(2021~2024)の成果

- ▶ 「水素製造装置における水素精製用めっき水素透過膜の実用化」で採択
- ▶ コストパフォーマンス100倍超、大面積化、長期耐久性実証に成功
- ▶ 成果を第5回RD20国際会議ポスター展示(2023/10)、リーフふくしま2023(2023/10)で発表



成長戦略とサステナビリティ経営

ものづくり力強化⑥ 新規事業03

事業化への取り組み

- ▷ 現時点でめっき水素透過膜の事業化には至っていない
- ▷ 社内開発から水素製造装置の普及利用を目指す各企業（非開示）との共同開発に軸足を移す
- ▷ 高性能化技術、水素製造装置への適用技術を中心にさらに開発を進め、事業化に取り組む



カーボンニュートラルに向けた取り組み

当社主力生産拠点東北事業部に **太陽光+蓄電池+EMSシステム** の運用開始 【2023年3月稼働開始】

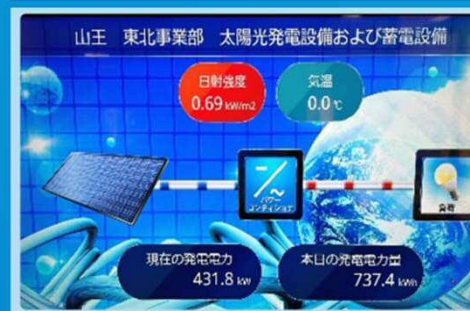
創エネ：太陽光パネル



蓄エネ：蓄電池



省エネ：EV充電器・エネルギー管理システム：EMS

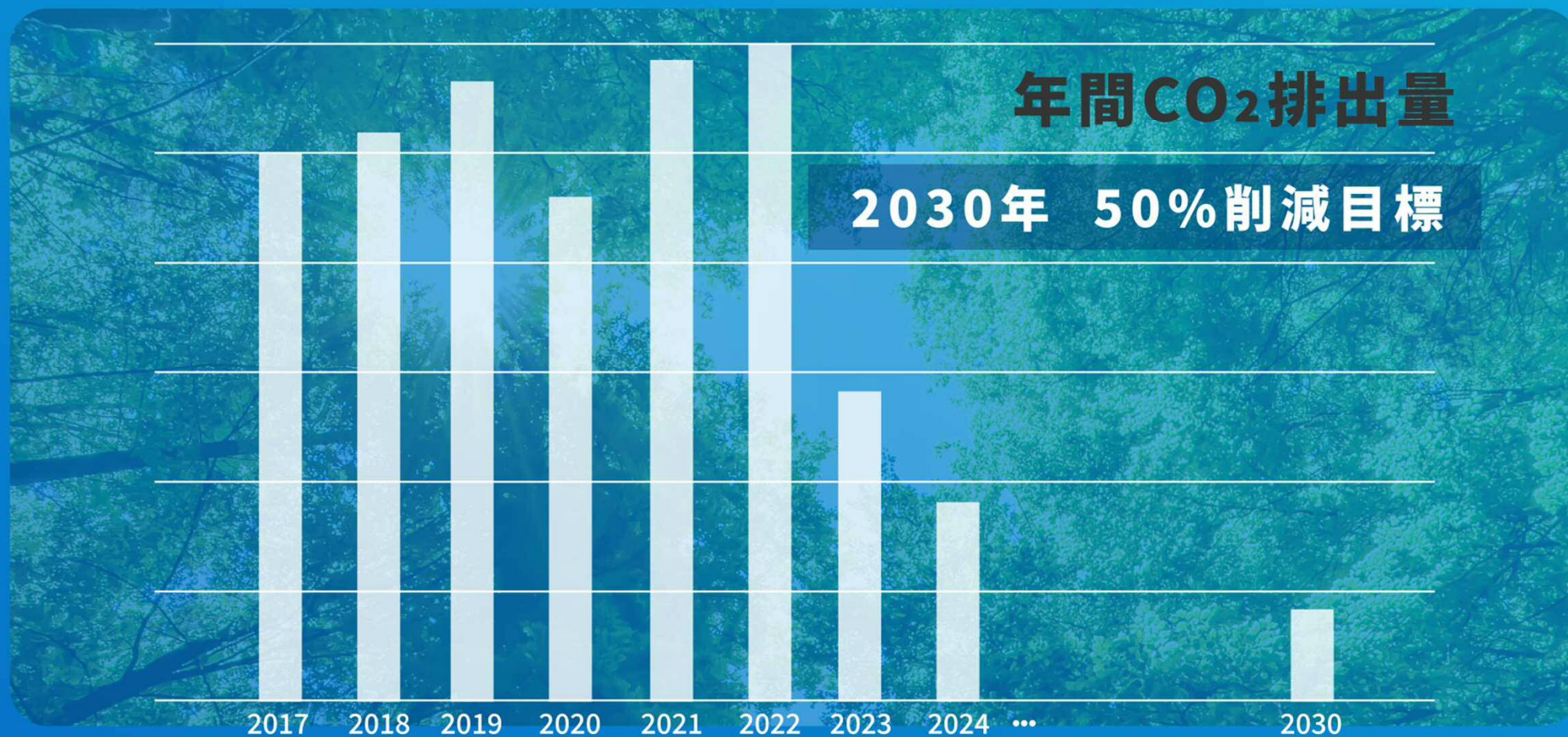


再エネ：再エネ電力の購入（非FIT非化石証書の活用）

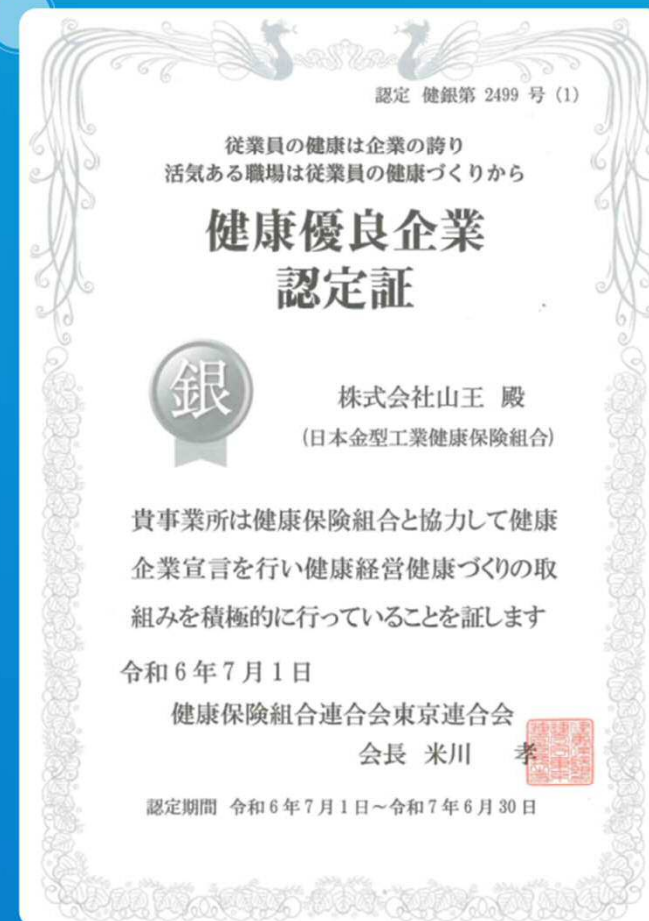


再生可能エネルギー
100%導入

カーボンニュートラルに向けた取り組み



健康経営と働く環境の改善



健康経営と働く環境の改善

